



サステナビリティ報告に関する倫理

ファクトシート 2025年1月

サステナビリティ報告に関するIESBAの倫理基準とは何か？

国際会計士倫理基準審議会®(IESBA®)は、公共の利益のためのサステナビリティ開示の作成者向けに、目的に合致した具体的な規定を含めるために倫理規程を改訂した。

主な特徴

IESBA倫理規程の**強固な倫理の枠組み**に基づき構築

サステナビリティ報告の**目的に合うよう**、現行のIESBA倫理規程における倫理規定を**強化**

職業会計士向け

(ただし、職業会計士ではない作成者も利用することができる。)

いかなるフレームワークにも対応する。

全てのサステナビリティ報告の枠組みと互換性がある。¹

「倫理」は追加的な選択肢ではなく、会計専門職の基盤である。

倫理は、**会計専門職の資格と、ファームのサステナビリティを支えるものである。**

世界的なサステナビリティ報告の進化と**成功の鍵**となる。

本資料は、IESBAのサステナビリティ報告に関連する「職業会計士のための国際倫理規程™ (国際独立性基準™を含む。)」(IESBA倫理規程)の改訂の概要を示すものである。

なぜサステナビリティ報告の倫理に関する規定が開発されたのか？

企業のサステナビリティ開示に関する**グリーンウォッシュ**やその他の**非倫理的行動**に対する社会的な懸念の高まりを受け、IESBAは、投資家やその他の利害関係者にとって、開示の透明性、関連性、信頼性が確保されることを支援するために、改訂された**倫理基準**を公表した。

世界及び各国のサステナビリティ基準の設定のエコシステムの急速な変化は、サステナビリティ情報の作成において、課題、複雑性、不確実性の増加という結果をもたらしており、右記を含め、倫理的な行動に対する特有のリスクが生じている。

- 新たなサステナビリティ報告の枠組み
- サステナビリティ情報の質的及び将来予測的性質
- バリューチェーンから取得したデータを含む可能性のある、未成熟なシステム、統制、データソース
- サステナビリティ事項の複雑性及びサステナビリティ領域の新興
- サステナビリティの目的やターゲットを達成するための雇用主からのプレッシャー、投資家からの要求又は期待
- 「グリーンウォッシュ」又は「グリーンハッシュ」を行う機会

¹ 例えば、IFRSサステナビリティ開示基準、欧州サステナビリティ報告基準 (ESRS)、グローバル・レポーティング・イニシアティブ (GRI) 及び統合報告

“パーフェクト・ストーム”を生み出す複合的な要因

義務化された報告

ビジネス上の機会

投資家からの要求

新興分野

複雑性

開示の主観性

未成熟なシステム

新たな報告

IESBAのサステナビリティ報告に関する倫理基準で影響を受けるのは誰か？

作成者、報告事業体、投資家、規制当局、顧客、供給業者及び従業員

質の高いサステナビリティ情報は、適切な**作成者のマインドセットと行動**に依存する。

作成者は、主観性、勧誘、誤ったインセンティブ、プレッシャー、利益相反の増大がもたらす**グリーンウォッシュやその他の非倫理的行動**に対する「**第一の防衛線**」である。

IESBA倫理規程のサステナビリティ報告に関連する倫理の規定は、これらのリスクに対処し、**次の手段により企業によるサステナビリティ開示に対する社会と組織の信頼がより高まることを支援する。**

- **サステナビリティ報告の特殊性**に対応するため、IESBA倫理規程の既存の枠組みを**強化**すること。
- **サステナビリティ開示の作成者**に対して、**投資家**にとってのリスク（例えばグリーンウォッシュ）並びに**報告事業体及びその他の利害関係者**にとってのリスクに対応する、**強固で具体的な行動規範**を設定すること。
- あらゆるサステナビリティ報告の基準／規則を支援し、活性化させるための**国際的な倫理のベースライン**を提供すること。



グリーンウォッシュ及びその他の非倫理的な行動

サステナビリティ報告における誤解を招く行為には、意図的な虚偽表示や情報の省略が含まれる。例えば、「グリーンウォッシュ」や「グリーンハッシュ」などがある。職業会計士は、特定のサステナビリティの目標やターゲットを達成するためにサステナビリティ情報を操作したり、規制による罰則を回避したり、事業体のサステナビリティへの取組みを偽ったりするプレッシャーがある中で、このような行為を避けなければならない。

グリーンウォッシュを行う機会:

- 未成熟なシステムや統制。バリューチェーン内における同様の問題
- 信頼性の高いデータの取得を困難にするバリューチェーンの複雑性
- ガバナンスの取決めの未整備

グリーンウォッシュへのインセンティブとプレッシャー:

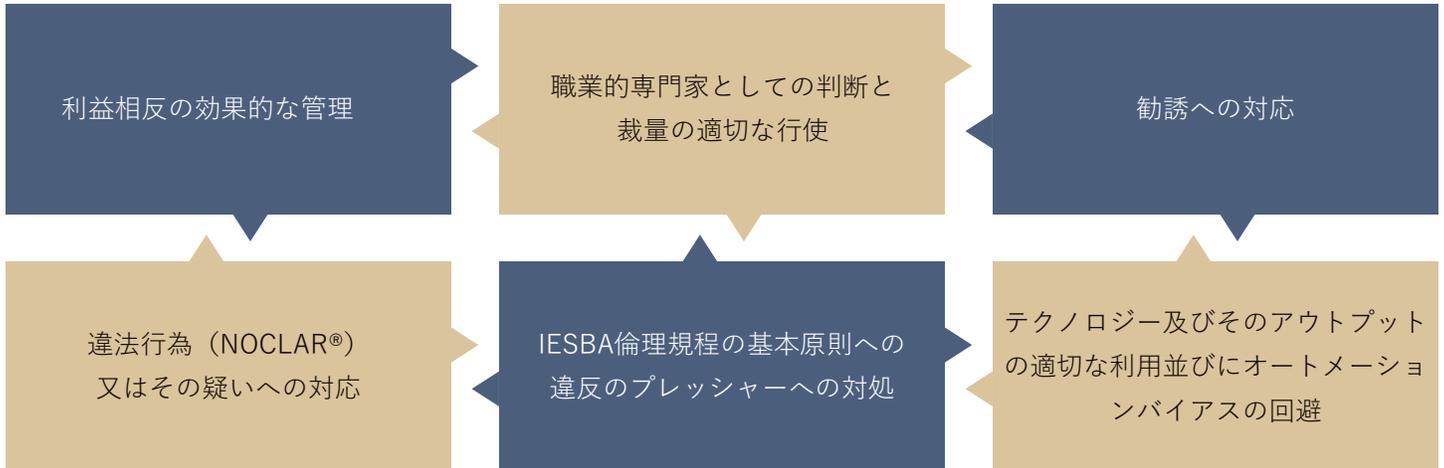
- ネットゼロ目標に向けた有意義な進捗を示すことへの市場の期待の高まり
- サステナビリティの目標を達成することや、機会、リスク、影響について楽観的な見通しを示すことへの社内からのプレッシャー

グリーンウォッシュの正当化のしやすさ:

- 未成熟又は新しい報告が厳しく精査されない。
- サステナビリティ情報がより定性的で主観的である。
- サステナビリティ情報が財務情報ほど重要ではない。



IESBAのサステナビリティ報告の倫理に関する規定は、IESBA倫理規程の既存の基本原則、概念的枠組み、強固な倫理基準を基に構築されており、これらは、サステナビリティ情報の作成時に発生し得る倫理に関する問題に対処するために、次を含む事項を通じて職業会計士を支援するものである。



IESBAのサステナビリティ報告の倫理に関する規定はどのような影響をもたらすのか？



公共の利益のためにグリーンウォッシュやその他の非倫理的な行動に対抗すること。

- 職業会計士が誠実性、客観性、職業的専門家としての能力及び正当な注意を持って行動し、サステナビリティ情報の作成又は提供に当たっては適切な職業的専門家としての判断と裁量を行使するという、職業会計士に対する明確な要求事項
- 偏ったインセンティブ、利益相反及びサステナビリティの目標を達成すること、過度な楽観性を示すこと、情報の「グリーンウォッシュ」又は「グリーンハッシュ」を行うことに対する不当なプレッシャーに対処するための明確な規定



高品質で倫理的に作成されたサステナビリティ開示によって資本市場を支援すること。

- サステナビリティ情報の作成と提供に関するIESBA倫理規程は、サステナビリティ報告のサプライチェーン全体における整合性と誠実性を促進することで、企業のサステナビリティ開示に対する社会の信頼と信用を高め、より良い情報に基づいた投資判断につなげる。



財務諸表と同一水準のサステナビリティ情報の信頼性

- サステナビリティ報告のための強固な倫理基準は、財務報告の場合と同様にサステナビリティ報告の信頼性を高め、統合報告を促進する。

2026年12月15日

適用日

新基準は、**2026年12月15日**から適用され、
早期適用が認められ、奨励されている。



IESBAのサステナビリティ報告及び保証に関する [こちらのフォーカスページ](#)も参照のこと。



IESBA について

IESBAは、ビジネスや組織における倫理的行動及び世界中の組織、金融市場、経済の適切な機能とサステナビリティの基盤である財務情報及び非財務情報に対する社会的信頼の礎として、高品質の国際的な倫理基準（独立性を含む。）を設定している。



IESBA について更に詳しく知りたい場合、[こちらをクリック](#)

www.ethicsboard.org

国際会計士連盟は、知的財産権及びサービス・レベル契約を通じ、IESBAのコンテンツの翻訳又は複製に関する依頼を管理している。本文書又はその他の出版物の複製若しくは翻訳の許可、又は知的財産権に関する情報については、[「Permissions」を参照するか、Permissions@ifac.org](#)まで連絡されたい。

IESBA®、国際倫理・監査財団™（IFEATM）及び国際会計士連盟®（IFAC®）は、本文書の内容を信頼して行為を行うか又は行動を控えることによって生じる損失について、当該損失が過失により生じたものであれ他の原因によるものであれ、一切責任を負わない。

2025年1月に国際会計士連盟（IFAC）によって英語で公表された国際会計士倫理基準審議会（IESBA）の「ファクトシート：サステナビリティ報告に関する倫理」は、2025年5月に日本公認会計士協会によって日本語に翻訳され、IFACの許可を得て使用されている。IESBA倫理規程の翻訳プロセスは、IFACにより検討され、翻訳は「ポリシー・ステートメント - IFACの出版物の翻訳に関する方針」に従って実施されている。全てのIESBA倫理規程の文書の正文は、IFACにより英語で公表されたものである。IFACは、翻訳の正確性と完全性、又はその結果として生じる可能性のある行動について一切の責任を負わない。

Ethics for Sustainability Reporting Fact Sheetの英語文©2025年 国際会計士連盟（IFAC）。無断複写複製を禁ずる。

「ファクトシート：サステナビリティ報告に関する倫理」の日本語文©2025年 国際会計士連盟（IFAC）。無断複写複製を禁ずる。

原題：Ethics for Sustainability Reporting Fact Sheet ISBN：

この文書の複製、保管若しくは送信、又は他の類似する使用については、Permissions@ifac.orgに連絡されたい。